

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2022 No.563

11 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第38回 日本診療放射線技師 学術大会 開催される (ハイブリッド開催)

2022年9月16日(金)から18日(日)まで、第38回日本診療放射線技師学術大会が神戸コンベンションセンター 国際会議場で開催されました。

新型コロナウイルス感染対策により、海外からの来賓・参加は取りやめとなりましたが、公益社団法人日本診療放射線技師会の主催、公益社団法人兵庫県放射線技師会の共催により「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～革新への挑戦～」をテーマに掲げ、前回大会に続きハイブリッドでの開催となりました。採択演題は319演題、参加登録者数は1,751人(会場開催後のWeb開催参加申込者については含まず、9月18日会場開催終了時での数字)となりました。

16日(金)の開会式では、児玉直樹副会長による開会宣言の後、上田克彦会長の鐘打の音が会場いっぱいに響き渡り、開会が告げられました。上田会長による主催者あいさつ、後藤吉弘大会長によるあいさつがあり、続いてご来賓からは、厚生労働大臣政務官 畦元将吾さま、衆議院議員 松本剛明さま、衆議院議員 盛山正仁さま、兵庫県副知事 片山安孝さま、公益社団法人日本



後藤吉弘大会長



畦元将吾さま 松本剛明さま 盛山正仁さま 片山安孝さま 村上卓道さま



山田 恵さま 成田康子さま 白石順二さま 山本章雄さま 八田昌樹さま

医学放射線学会副理事長 村上卓道さま、一般社団法人日本放射線科専門医会・医会理事長 山田恵さま、公益社団法人兵庫県看護協会会長 成田康子さま、公益社団法人日本放射線技術学会代表理事 白石順二さま、一般社団法人日本画像医療システム工業会会長 山本章雄さまからごあいさつを頂き、一般社団法人兵庫県医師会会長 八田昌樹さまの来賓紹介が行われた後、内閣総理大臣 岸田文雄さまをはじめとする祝電が披露されまし



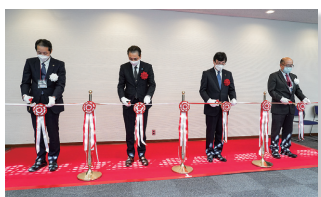
学術奨励賞受賞者の方々



江間賞受賞者の方々

た。また50年永年勤続（代表：河村吉章さま）、30年永年勤続（代表：吉井勝さま）、学術奨励賞（代表：小森将樹さま）、さらに社会貢献を称賛する江間賞（代表：立石敏樹さま）の皆さまの栄誉をたたえ表彰が行われました。そして江藤芳浩副会長より閉会が告げられ、開会式は終了しました。

企業展示オープニングセレモニーでは、中野大副大会長の開会の辞から始まり、厚生労働大臣政務官 畦元将吾さま、日本画像医療システム工業会 山本会長、上田会長、後藤大会長によるあいさつとテープカットが行われ、曾宮雄一郎実行委員長の閉会の辞をもってセレモニーは終了しました。企業展示は、日本画像医療システム工業会ならびに多くの協賛企業の協力の下、さまざまな展示が行われました。



テープカットの様子



企業展示

初日の企画として、委員会・分科会・関連学会によるシンポジウムや骨関節撮影分科会による補助具作成ハンズオンセミナー、企業さまの協賛によるランチョンセミナーなど、また開催県であるHART企画として、ミステリー作家である今村昌弘氏による「放射線技師から作家になるまで、そして夢の先」と題した市民公開講座が行われました。また開会式後には永年勤続表彰式が執り行われました。本来であれば情報交換会が行われるはずの初日の夜ですが、本年も自粛せざるを得なかったのはとても残念でした。

2日目の17日(土)は、委員会・分科会・関連学会によるシンポジウムが行われ、上田会長による「社会の変化と診療放射線技師」と題した会長講演、JART-JSRT合同シンポジウム「生殖腺（性腺）防護について考える その2」や画像等手術支援分科会による3D画像作成ハンズオンセミナー、



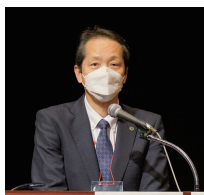
永年勤続者表彰式



市民公開講座
(今村昌弘氏)



市民公開講座
(五月女康作氏)



会長講演



JJ合同企画（性腺防護WG）



モーニングセミナー



ランチョンセミナー



ハンズオンセミナー
(下肢静脈超音波検査)



ハンズオンセミナー
(放射線サーベイ)

HART企画からモーニングセミナーや教育講演、企業さまの協賛によるランチョンセミナー・ティーセミナーも行われました。

最終日の18日(日)は、委員会・分科会・関連学会によるシンポジウムの他、下肢静脈超音波検査・放射線サーベイのハンズオンセミナー、HART企画よりモーニングセミナーや教育講演、さらに「私がラジエーションハウスで伝えたかったこと～誕生から映画化までのキセキ～」と題して、漫画やテレビドラマ『ラジエーションハウス』の医療監修を務める福島県立医科大学保健科学部 五月女康作氏による市民公開講座が行われました。

閉会式は、富田博信副会長による開会の辞から始まり、上田会長から主催者あいさつ、後藤大会長からあいさつがあり、上田会長により閉会を告げる鐘が鳴らされました。鐘は兵庫県実行委員会から次期開催県である熊本県実行委員会へ引き渡され、熊本県プロモーションビデオが放映された後、西小野昭人大会長からあいさつがありました。その後、上田会長から兵庫県放射線技師会および大会実行委員会に感謝状が贈呈されました。最後に、江藤芳浩副会長による閉会の辞をもって、3日間にわたる学術大会は幕を下ろしました。

今回の学術大会に参加いただいた皆さま、企業展示・協賛セミナーなどへご協力いただいた業界各社の皆さま、各都道府県技師会の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

次年度の第39回日本診療放射線技師学術大会は、2023年9月29日(金)から10月1日(日)までの日程で、熊本城ホールにおいてハイブリッド開催される予定です。



次期開催県への鐘の引き渡し



熊本県放射線技師会
西小野昭人大会長

国家試験日程決まる

第75回診療放射線技師国家試験の施行について、2022年9月21日付で厚生労働省から報告がありました。

試験期日は2023年2月16日(木)、試験地は、北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県です。試験科目は、基礎医学大要・放射線生物学(放射線衛生学を含む)・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・放

射線治療技術学・放射線安全管理学です。合格発表は2023年3月23日(木)午後2時です。なお、試験に関する手続きおよび問い合わせ先は以下の通りです。

「診療放射線技師国家試験運営本部事務所」

〒135-0063

東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館7階

TEL : 03-5579-6903

2022年度 第4回理事会 開催される (Web併催)

2022年10月1日(土)午後1時30分より、2022年度第4回理事会が鈴鹿医療科学大学でWeb会議システムを併用して開催されました。鈴鹿での理事会開催は2年ぶりであり、理事会開催に先立って、2021年度会員物故者に対してJART記念館前に設置されている顕彰碑への入魂式が執り行われました。

冒頭に上田会長のあいさつがあり、神戸コンベンションセンターで開催された第38回日本診療放射線技師学術大会に対する感謝の言葉や、診療放射線技師がワクチン接種などの担い手となる検討会などについての報告がありました。

主な議題は、「定款改正」「総会議事規程改正」「役員選任規程改正」「役員の報酬等並びに費用に関する規程改正」「旅費規程改正」「臨時総会開催」「会誌表紙デザイン」「告示研修における医師派遣の仕組みの変更」などでした。

江藤副会長からは、総会議案となる定款改正①役員及び会計監査人設置②総会議事規程③役員選任規程④役員の報酬等並びに費用に関する規程⑤旅費規程——の改正案について説明がありました。また定款に基づき、第85回臨時総会開催(12月3日(土))についての提案があり、いずれも賛成多数で承認されました。



富田副会長からは、来年1月号以降の会誌表紙について3種類のデザイン案が提示され、役員の投票により新しい会誌表紙デザインが決定しました。また会誌投稿論文数が年間50本程度ありますが、年間に掲載できる論文数には限りがあるとの説明がありました。このことから、来年度に論文特集号増刊についての提案がありました。審議の結果、年間2号の論文特集号発刊が承認されました。

児玉副会長からは、告示研修における医師派遣の仕組みの変更について説明がありました。3カ月前の申請ならびに日本医学放射線学会地域指導管理責任者と開催日程を調整すること、遠方の地域への医師派遣は困難であること、半期末は異動があり対応が困難であることなどについて説明がありました。審議の結果、告示研修の医師派遣の仕組みの変更が承認されました。

最後に、園田理事より今後のスケジュールが確認され本理事会は終了しました。

詳細は、2022年度第4回理事会議事録(抄)をご参照ください。

2022年度 基礎技術講習 「X線CT検査」開催報告

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 教育委員 佐藤 宏

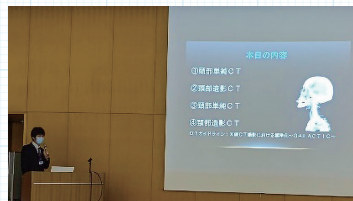
- 1. 日 時 2022年9月25日(日) 9:20~17:50
- 2. 場 所 栃木県総合文化センター 特別会議室
- 3. 参加人数 43人
- 4. 内 容

2022年9月25日(日)、基礎技術講習「X線CT検査」を栃木県総合文化センターで開催しました。日々の診療において必要な基礎知識・技術の再認識と、さらなるレベルアップを目的として、CT検査に携わる方はもちろん、未経験の方を対象に募集し、43人の参加がありました。栃木県だけでなく関東圏からの申し込みもあり、本講習会への関心の高さを感ずることができました。



CT装置の原理・画像再構成法・撮影技術(頭頸部・胸部・大血管・腹部)・画質・性能評価・線量特性・画像表示処理と、CT検査一連を学ぶ科目を用意することができました。講師についても、教育現場と臨床のそれぞれ最前線で働く方を選任させていただいたので、教科書的な項目に加え、臨床画像を交えた臨場感あふれる内容でした。

昨年度はコロナ禍により一部の講師が動画再生の形式となりましたが、本年度は講師全員が一堂に会することができたので、講師の熱量がより受講生に伝わり、非常に有意義な講習会となりました。



第38回日本診療放射線技師学術大会 骨関節撮影分科会ハンズオンセミナー 補助具作成セミナー 開催報告

骨関節撮影分科会

2022年9月16日(金)、第38回日本診療放射線技師学術大会内のハンズオンセミナーとして、補助具作成セミナーが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、会場に会場できるだろうと申し込まれた受講者は19人でした。

セミナーは最初に、膝関節軸位撮影に関して、補助具の重要性や再現性の座学を受講します。その後、各テーブルに分かれて実際に補助具を作成していただきます。材料となるポリエチレンフォームに型紙を写し、電動ブレードナイフで切断していきます。ただし、そのままでは材料を切ることができないので、固定器具に材料を固定して



切断します。このとき一人では難しいため、受講者が二人一組となり、お互いに手伝いながら切断します。各テーブルに付いた講師から説明を受けますが、聞いただけでは難しく感じます。しかし、やってみると案外簡単に切断できることが理解でき、補助具が出来上がるころにはすっかりコツをつかみ、次の受講者と立場を変え、バトンをつなぐように各自の補助具を作成されていました。

本セミナーは補助具を作成していただくだけでなく、作成の仕方も職場に持ち帰っていただき、翌日からの臨床の場に生かしていただけるものと思っています。

骨関節撮影分科会には、来年の熊本大会実行委員からもぜひ補助具作成セミナーを行ってほしいとの言葉を頂いております。女性同士でも簡単に作成できますので、気になる方はぜひご参加ください。



第38回日本診療放射線技師学術大会 画像等手術支援分科会ハンズオンセミナー 3D画像作成ハンズオンセミナー 開催報告

画像等手術支援分科会 分科会長 平野 透

第38回日本診療放射線技師学術大会期間中の2022年9月17日(土)、画像等手術支援分科会による3D画像作成に関するハンズオンセミナーを開催致しました。

診断・治療に役立つ3次元画像作成には、CTやMRIなどの適切な撮影や造影手技の段階から携われる診療放射線技師が行うべきと考えております。また臨床的に有用な情報を提供するためには、われわれ診療放射線技師が作成する3次元画像は標準化され、さらに詳細な情報を含んだ高精細な画像でなければならないと思っております。そのため昨年もNetwork Nowで報告させていただきましたが、画像等手術支援分科会ではシンポジウムやJART誌に連載している3Dシリーズなどの座学と、実際に3Dワークステーション(3DWS)を用いたハンズオンセミナーを開催しております。特にハンズオンセミナーに関しては、紙面や発表では知り得ない画像作成に関するさまざまな情報を、実際に参加されている本会会員と共有できることから、当分科会の重要な事業と位置付けております。

例年、学術大会中に開催しているハンズオンセミナーは、午前を初級者を対象とした2領域(昨年は整形領域と心大血管領域)と午後から中級者を対象とした1領域(昨年は脳神経外科領域)でしたが、本年度は午前・午後とも1領域、さらに両者とも中級者を対象とし、より実践的な手術支援画像の作成ができるようなプログラムにしました。また昨年までは3DWS1台に対し2人の受講者で行っており、受講者が満足に画像作成の経験をしていただくことができなかったと思



われましたが、本年度は午前・午後とも3DWS1台を一人で使用する環境にしましたので、症例に対し、最初から最後まで関わって十分な情報提供ができたのではないかと考えております。午前10時からの90分、午後は2時30分からの90分と、学術大会の約1日分のスケジュールをわれわれ分科会メンバーと共有してくださった受講者の皆さまには本当に感謝しております。

当分科会では、2023年2月に学術大会とは別に、中・上級者向けに朝から夕方までのハンズオンセミナーの開催を計画しております。詳細はまたJART誌に掲載致します。さらなる高精細3D画像作成に興味のある方、ご参加をお待ちしております。

第38回日本診療放射線技師学術大会 放射線治療分科会ハンズオンセミナー 「体幹(骨盤)部の固定具作成を極める」開催報告

放射線治療分科会 委員 久家 教幸(純真学園大学)

第38回日本診療放射線技師学術大会開催期間中の2022年9月17日(土)、放射線治療分科会主催によるハンズオンセミナーを8人の参加者で実施させていただきました。前立腺IMRTにおける最適な固定具作成方法を検討することを目的として、吸引式固定具とシェル作成フローを考え、実際に作成する内容で開催しました。参加者には固定具作成のフローの事前課題に取り組んでもらい、セミナー当日に課題を持参していただいています。事前課題に取り組むことにより、疑問点や聞きたいことが整理され、白熱したディスカッションにつながったと感じました。また参加者やファシリテーターからはいろいろな

意見が出され、改めてさまざまな固定具作成手法があることが再認識されました。参加者にはセミナーで新たに得た知見を自施設のフローに取り入れ、今後の診療に活かしてもらい



たいと思いました。

参加者からの事後アンケートの結果では、回答者全員からセミナーの評価として「大変良かった」との回答がありました。参加者の意見として「他施設のやり方、工夫点が聞けた。議論しながら実習が行えた」「セミナーが3時間と長く不安であったが、ディスカッションが盛り上がり逆に時間が足らなくて、もっと議論したかった」との好意的な意見がほとんどであり、参加者の満足度が非常に高いということが分かり、ハンズオンセミナーの開催意義は十分にあったと考えます。セミナー終了後、参加者はそれぞれの連絡先を交換されている姿が見られ、昨今のWebでの講習会などでは得られない横のつながりもできる貴重な機会となりました。今回のハンズオンセミナーが好評だったこともあり、来年度の熊本での学術

大会でも実施する予定です。会員の皆さまのご参加をお待ちしています。ハンズオンセミナーの詳細については、技師会ホームページの放射線治療分科会ページに掲載予定です。併せてご覧ください。



第16回日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同市民公開講座シンポジウム 開催報告

2022年9月18日(日)、兵庫県・神戸コンベンションセンターで、日本診療放射線技師会(JART)と日本放射線技術学会(JSRT)による合同市民公開講座シンポジウムが、第38回日本診療放射線技師学術大会終了後の午後1時から開催されました。参加者数は、一般市民を含む96人の参加がありました。

今回は、日本診療放射線技師会が中心となって企画を行い、テーマは「いま町神戸から発信 多職種で考える日本の現状 高齢化社会での脳卒中」と題して開催されました。

初めに、超高齢社会を迎えた昨年、一秒一時を争う脳卒中患者をいかに早く病院に搬送するかの取り組みなどについて、救急救命士の立場から神戸市消防局 警防部救急課の中田達也氏からご講演いただきました。続いて診療放射線技師としての立場から脳卒中に関して、MRIは吉田病院附属脳血管研究所 森勇樹氏から、CTは兵庫医科大学病院 放射線技術部 琴浦規子氏から、それぞれ各検査の内容と目的についてご講演いただきました。特別講演では、神戸大学大学院 脳神経外科 甲田将章氏に「多職種で取り組む脳卒中診療」についてご講演いただきました。甲田先生のご講演では、演題名の通り、いかに早く的確な治療へとつなげることが重要かなど、一般市民に分かりやすい基礎的な用語解説から検査・治療の内容とその意義まで、大変有意義なご講演を拝聴することができ、素晴らしい合同市民公開講座シンポジウムでありました。



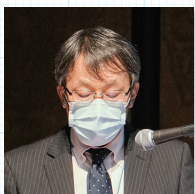
現在、医療現場を取り巻く環境は大きな転換期を迎え、医師の働き方改革によるタスク・シフト/シェアにおいて、診療放射線技師への役割が広がりがつつあります。チームで取り組むためには、共通用語・共通認識・情報共有が重要であり、それぞれの守備範囲だけでなく、少し守備範囲を広げ、互いに業務範囲をオーバーラップさせることの重要性が必要であると感じました。

常に患者や家族の立場に立ち、^{互い}に日常業務に取り組むことの重要性を感じ、改めて襟を正すことができるシンポジウムであったと考えます。

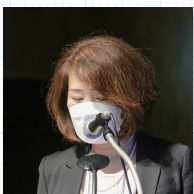
最後に、JSRTの理事の皆さま、兵庫県放射線技師会の後藤会長、実行委員の皆さまには、開催までの準備から当日の運営まで大変なご協力を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。



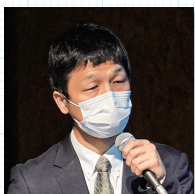
中田達也氏



森 勇樹氏



琴浦規子氏



甲田将章氏



診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

鳥取県

一般社団法人鳥取県診療放射線技師会 理事 坪内 寛

2022年9月18日(日)、鳥取県倉吉市・伯耆しあわせの郷で「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」が開催されました。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上で、感染対策を講じて3年ぶりに会場での開催となりました。

6人の新人が参加し、エチケット・マナー、医療安全、医療コミュニケーション、感染対策、被ばく低減、病気の理解について学習していただきました。また鳥取県診療放射線技師会の福光副会長から「技師会について」の演題で、技師会と



はどういう組織なのか？ また診療放射線技師として仕事をし
ていく上で技師会の必要性や意義を話していただきました。

コロナ感染拡大の影響で勉強会や研修会のほとんどが
Webで行われている中、感染状況が落ち着いたタイミング
で、久々に会員や新人と実際に会ってセミナーを会場開催で
きたことをうれしく思います。

最後に、参加者およびセミナー開催に尽力していただきま
した講師の皆さま、JART事務局の皆さまに深く感謝申し上げ
ます。



福島県 (Web開催)

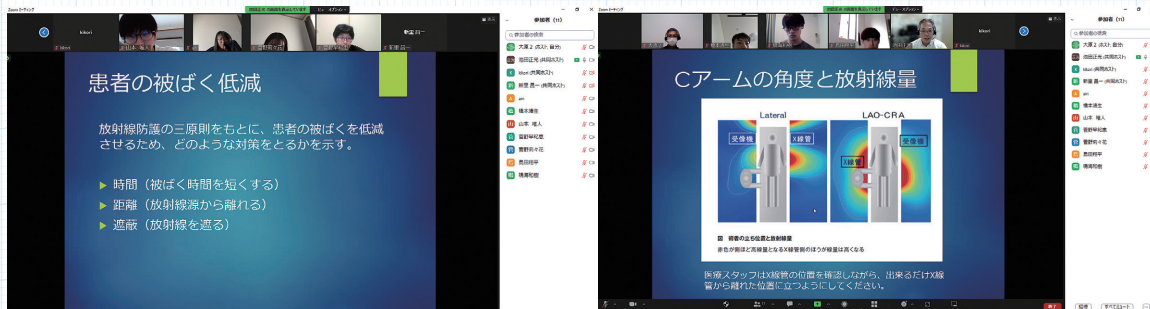
公益社団法人福島県診療放射線技師会

福島県診療放射線技師会では、フレッシューズセミナーを
2022年9月25日(日)に開催致しました。数年前より感染対
策を考慮してWeb開催としています。エチケット・マナー、
医療安全、感染対策、医療コミュニケーション、気管支解剖、
被ばく低減(昨年までは診療報酬を追加)、入会案内の項目に
ついて行いました。

参加者は7人と多くはなかったですが、参加者からはお礼
の言葉を頂きました。一部をご紹介しますと「お忙しい中、
フレッシューズセミナーを開いてくださりありがとうございます

ました。気管支の解剖は勉強していましたが、塗り絵をし
たり、気管支体操をしたことでさらに理解を深めることができ
ました。またコミュニケーションや感染対策など、今日学ん
だことを今後の仕事に生かしていきたいです」。その他も全体的
に良好な評価を頂きました。受講者はWeb開催ですが、真
剣に聴いていただいたことが分かります。

最後に、本セミナー開催のために尽力いただきました生涯
教育委員、講師の皆さま、JART事務局の皆さまに感謝を申し
上げまして、本セミナーの開催報告とさせていただきます。



INFORMATION

第1回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

大会長 西小野 昭人
(一般社団法人熊本県放射線技師会 会長)

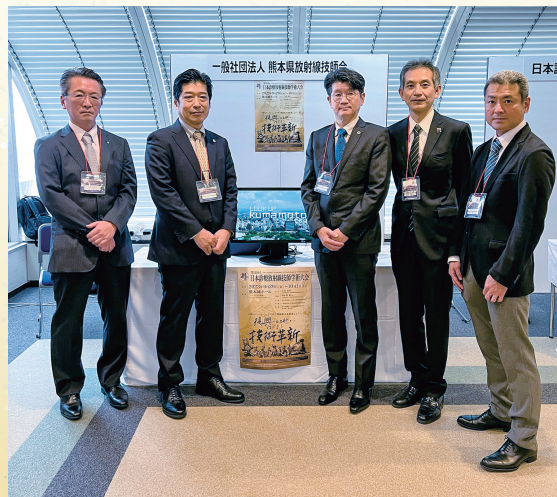
学術大会開催のお知らせ

第39回日本診療放射線技師学術大会を、2023年9月29日(金)から10月1日(日)までの3日間、熊本城ホールで開催致します。今回は東アジア学術交流大会 (East Asia Conference of Radiological Technologists : EACRT) も開催される国際大会となります。

本大会は、日本診療放射線技師会のスローガン「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」の下、サブタイトルとして「復興の地からはじまる技術革新」と定め、皆さまを熊本へお迎えすべく準備を進めています。

さて、「復興の地からはじまる技術革新」というサブタイトルを選んだ理由として、2016年4月の熊本地震で全国の会員の皆さまからたくさんのご支援を頂いたことを受け、何かしらの恩返しをしたいという思いで熊本県の実行委員の間で決定致しました。ポスターデザインは見ていただくと分かると思いますが、「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を配置しています。これは熊本地震から復興に向かう熊本に対し、尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」とメッセージを頂き立ち上がった「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」の一環で建造された銅像で、熊本県内に10体存在します。会場からそう遠くない場所に設置されたものもありますので、ぜひ、ご覧になっていただければと思います。

全ての参加会員の皆さまにご来熊いただきたいと思いますところですが、まだまだ新型コロナウイルスの影響は残っています。しかしながら、学術大会のスタイルは大きく変わり、ハイブリッド開催も当たり前になってきた今日、本大会もハイブリッド開催とし、現地参加できない会員にも新たな技術について学んでいただけるように準備をしまっています。多くの皆さまの演題登録とご参加をお待ちしています。





第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール
[ハイブリッド開催]
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦
[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会
熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる

技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

第六感で危険予知



Network Now「五感」の原稿を依頼されたことから改めて「五感」をググってみたところ、「動物やヒトが外部からの情報を感じ取る時、目・耳・鼻・舌・皮膚という感覚器から感じる、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という五つの感覚」とのことであった。

「五感」を調べると、常に五感以外の感知能力として「第六感」が出てくる。「第六感」は、五感では説明できない感覚のことで勘（直感）・予感・靈感などの6番目の感覚といわれるものであり、私的には非科学的なものという印象を受ける。

この「第六感」に似たものに世間では「女の勘」といわれるものがあり、男性諸氏では普段の生活の中で女の勘は鋭いと痛感することも多々ある。実は「女の勘」が鋭いのは科学的に解明されるという説もあり、右脳と左脳をつなぐ脳梁が女性の方が太いので、五感の情報を一度にたくさん処理できることから必然的に情報処理能力が高くなり、結果、物事の本質を言い当てられるということのようである。「第六感」というのはスピリチュアル的なものではなく、五感から得た情報を整理し、まとめる能力ではないかといわれるのも納得できる。

われわれの業務にも「第六感」が大いに生かされる場面がある。それは危険予知といわれるもので、ポータブルで廊下を走行中、「交差点、曲がった先に患者さんがいてもぶつからないようにゆっくり走行しよう」「車椅子の患者さん、状態が悪そうなので立位はやめて座位で撮影しよう」など、「第六感」をフルに生かしてミスや事故を未然に防止する危険予知能力が求められている。

「第六感」は全くの勘ではなく、五感から得られた情報をまとめ判断する能力であれば、日頃から鍛えたり磨いたりして業務に生かすよう心掛けてもらいたい。

先日、某医療大学の評議員会に出席した。「あれ、あの職能団体会長とあの団体の会長、随分親しそうに話をしてるな」「あれ、あの団体の会長の席、以前より上がってるな」、五感から感じる情報に「うち（診療放射線技師会）はこのままで大丈夫なのか？」「もっと大学や他団体と積極的に交流し、良い関係を構築しなければマズイんじゃないのか」——私の中の職能団体代表としての第六感が危険予知アラートを発している。

（文責：界外 忠之）

11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ Ai(死亡時画像診断)症例報告会：Web開催 2022年12月3日(土)

【e-ラーニング(ストリーミング方式)】

- | | |
|---|--|
| ■ 告示研修(基礎研修) | 2021年7月31日(土)午前0時から申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 認定資格の取得を目指す在宅講習
・ラダーレベル3 | 2022年11月30日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※各認定資格試験日前日まで何度でも視聴いただけます(認定資格試験：2023年1月29日(日))。 |
| ■ 認定資格失効者講習会(在宅) | |
| ■ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修 | |
| ■ オンラインセミナー(在宅)
・ラダーレベル1、2
・マネジメントラダーレベル3 | 2022年12月20日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2023年1月28日(土)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ Ai認定講習会 | |

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)」「告示研修(実技研修)」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/2022_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000081c3.html
- 「告示研修(実技研修)」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2022.html

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。